

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成27年12月17日)

項 目

ページ

7 平成27年度第4回湖山池会議の開催概要について

【水産課】 1

農 林 水 産 部

平成27年度 第4回湖山池会議の開催概要について

平成27年12月17日
水・大気環境課
水産振興局水産課

今年度4回目の湖山池会議を開催したので、その概要を報告する。

日時等：平成27年12月16日（水） 16：00～（県庁講堂）

出席者：県 野川統轄監ほか 関係部長等、市 羽場副市長ほか 関係部長

1 シジミ貝毒事案の発生への対応状況の報告

- ・8月27日に開催された湖山池会議において、「赤潮の発生状況を注視するべき」との意見を受け監視・水質検査を強化していたところ、10月20日頃から赤潮が顕著となった。
- ・10月26日に採取したシジミから国の基準をわずかに上回る麻痺性貝毒が検出した。
- ・湖山池漁協は、11月3日以降のシジミ漁を自粛した。
※11月6日に緊急湖山池チーム長会議を開催し、強化した監視体制を継続することについて確認した。
- ・貝毒検査の結果、3週間連続で国の基準値以下となり、赤潮も水温の低下等に伴い減少傾向となる。
※12月3日に緊急湖山池チーム長会議を開催し、今後の対応・監視体制について再確認した。
⇒ 湖山池漁協は、12月6日からシジミ漁を再開した。

<今後の対応>

- 年内は、水質検査等を継続実施し、安全性を確認しながら操業する。
(目視パトロール/毎日、プランクトン検査/週1回、貝毒検査/週1回)
- 赤潮が発生しやすい春先には、注意が必要なことから監視強化体制を再度確保する。
- 発生要因を現場データ等から追究し、速やかに監視体制をとれるような知見を蓄えていく。

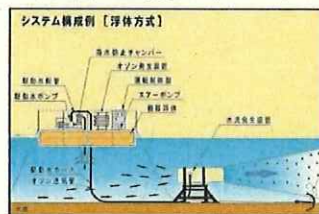
2 10月以降の水質状況の報告



(水質の動向)

- ・10月は平年に比べて降水量が極めて少なかったことや、高潮位継続の影響による海水流入量の増により、塩分濃度は微増したが、溶存酸素量は良好であった。
- ・10月下旬頃から局地的赤潮が発生した。
- ・11月は例年並みの降雨量。溶存酸素量も良好。塩分濃度は一時的な上下はあったものの、初冬を迎えて、潮位が低下し、減少傾向で推移。
- ・水温も低下し、赤潮も減少傾向。

3 流動促進装置（ジェットストリーマー）の概要報告



■目的：水質改善（貧酸素の改善）のために流動促進装置の実証試験を行った。

・実施期間

7月下旬～10月中旬

・貧酸素改善効果

局所的ではあるが効果はあった。

4 住民との意見交換会等の開催状況

参加者からは、湖山池の積極的な活用や周辺環境整備を中心に要望や質問があった。

- ・利活用：休憩所・トイレ設置、ウォーキングのための周辺道路拡幅等の要望
- ・生態：魚類の生息数、外来種の生息状況、カラスガイの生息状況の質問
- ・水質：他の汽水湖の塩分濃度管理の取り組みの質問
- ・浄化対策：浚渫、覆砂、浅水代かきなどの効果の質問

